

大問	中間	連番	観点	やや満足及び概ね満足できる解答状況	配点	十分満足できる解答状況	配点
1	(1)	①	知識	○あきおがいる場所を大まかに書いている。 ・おなかの中にいるから、いっしょにいることになる。	2	○あきおがいる場所を的確に書いている。 ・お母さんのおなかの中にいるから、あきおさんも写真の中にいることになる。	3
	(2)	②	知識	○1つ正解ごとに1点	1～3	○子宮、羊水、たいばん、へそのお	4
	(3)	③	関心	○調べたい内容が漠然としている。 ・赤ちゃんのことを調べてみたい。 ・子宮のことを調べてみたい。 など	2	○調査方法を具体的に1つ以上書いている。 ・本で調べる。・インターネットで調べる。 ・保健の先生に聞く。・博物館で調べる。など ○調べたい内容が具体的である。 ・胎児の成長の様子について調べてみたい。 ・たいばんのつくりについて調べてみたい。 ・羊水の働きについて調べてみたい。 など	2 4 計6
	(4)	④	技能	○下記のうち1つ書いている。 ・くみ置きの水を使う。 ・1／2～1／3の水を入れ替える。 ○メダカを別の容器に移すことを書いている。 ・メダカを別の水そうに移しておく。	2 1	○水替えの際の注意点を正しく書いている。 ・くみ置きの水を使い、1／2～1／3の水を入れ替える。	3
	(5)	⑤	技能	○右記以外の注意事項を書いている。 ・明るい場所に置く。 など	1	○目をいためないように、解剖顕微鏡の使い方についての注意を正しく書いている。 ・直射日光の当たらない場所に置く。	3
	24点	(6)	⑥	知識	○養分について書いているが、説明が不十分。 ・養分があるから。 ○養分について触れていない。 ・腹に食べ物があるから。	3 1	○生まれた直後はおなかの中にある養分を使って育つことを書いている。 ・生まれた直後は、おなかの中の袋に養分があるから、食べなくても大丈夫。
2	(1)	⑦	技能	○点は正しいが、定規で線を引いていない。 ○点が抜けたり、間違っていたりする。 ・1か所 ・2か所 ・3か所	3 各3 2 1	○正確に点をとって定規で線を引いている。	5
	(2)	⑧	思考	○かかった時間を正解している。 ・30分 ○以下のように理由を書いている。 ・水は、0℃で凍り始め、全部氷になるまでずっと0℃が続くから ・20分～50分まで0℃が続いているから。	2 2	○時間を30分と正解し、理由も詳しく説明できている。 ・30分 ・水が凍り始めて全部氷になるまでずっと0℃が続く。この場合、20分後から凍り始めて、50分後に全部凍ったので、30分かかったことになる。	6
	(3)	⑨	知識	○「水」「氷」「体積」の3つの言葉を使っていないが体積変化について書いている。 ・氷になると体積が増える。 ・水より氷が増える。	2	○「水」「氷」「体積」の3つの言葉を使って以下のような内容を書いている。 ・水は、氷になると体積が増える。	3
	(4)	⑩	思考	○空気中の水蒸気が冷やされて水滴になったことを書いている。 ・冷えて、空気中の水蒸気が水滴となった。 ○冷やされて、水滴になったことを書いている。 ・冷えて、水滴が出てきた。	3 1	○空気中の水蒸気がプリンカップの表面で冷やされて水滴になったことを書いている。 ・空気の中にある水蒸気が、プリンカップの中の氷で冷やされて、水になって外側につくから。	5
				【授業改善の視点】 既習の知識を使って、次のような気象現象や日常生活に見られる事象を説明する言語活動を取り入れ、実感を伴った理解を図るようにする。 なお、気象現象については、写真や映像で提示すると効果的である。 《気象現象》 霧や霜、露 など 《日常生活に見られる事象》 冷たいコップや窓ガラスへの結露、冷凍庫を開けたときにできる白いもや など			
	(5)	⑪	思考	○蒸発したことを書いている。 ・蒸発したから。 ○水が下の方に移動したことを書いている。 ・水が下に落ちたから。	2 1	○蒸発して水蒸気になったことを書いている。 ・水が、蒸発して水蒸気になったから。	3
25点	(6)	⑫	思考			・イ ※本実験は、冷凍庫に入れた水が完全に凍るまで約1時間、その後、冷凍庫から取り出し、室温20℃の部屋の中に放置して、氷が全て水になるまで約1時間、合計約2時間の実験であるため、自然蒸発による体積変化の影響は、無視できる。	3

大問	中間	連番	観点	やや満足及び概ね満足できる解答状況	配点	十分満足できる解答状況	配点
3	(1)	⑬	技能			・ A と B (完答)	4
	(2)	⑭	技能			・ B と D (完答)	4
				【授業改善の視点】 条件制御は、5年生の問題解決能力育成の視点である。条件制御が不十分な例を取り上げ、実験の不備な点や適切な実験方法について話し合う活動を通して、観察・実験の技能の向上を図るようにする。			
	(3)	⑮	思考			・ エアポンプ	2
				【授業改善の視点】 種子を水中に沈める方法については、「空気がない状態」と捉えられなかったり、「水中にも空気はある」として納得できなかったりする児童がいることも考えられる。そのような場合、エアポンプを使って水中でも空気を送り込めば発芽することを演示実験し、空気の必要性を実感させるようにする。 なお、種子をガーゼで包んで輪ゴムでエアストーンに固定するなどして、十分空気に触れさせるようにしないと種子は発芽せずに腐敗するので、注意する必要がある。			
2.1点	(4)	⑯	思考	○ B と書いているが、わけが正しくない。	2	○ B と書いて、わけも正しく書いている。 ・ だっしめんには、肥料がないが、肥料がなくても発芽しているから。	5
	(5)	⑰	知識	○ 1 つ正解ごとに各 2 点	2	○ (うすい) ヨウ素液, 青紫色, デンプン	6
4	(1)	⑱	知識	○ 雲の量か雲の色のどちらか一方を書いている。	1	○ 雲の量と雲の色の両方とも書いている。 〈雲の量〉 ・ 空全体に広がっている。 ・ 雲の量は多い。 ・ 晴れた日よりも多い。 〈雲の色〉 ・ 黒っぽい色をしている。(黒色, 灰色でも可)	3
	(2)	⑲	技能			・ 東	2
		⑳	思考	○ 前日までの気象情報に触れていない。 ・ 熊本には雲がないから晴れである。	3	○ 前日までの気象情報をもとに、雲があるときと雲がないときの天気に触れながら、書いている。 ・ 1 2 日と 1 3 日の図を見ると、熊本に雲がなければ晴れ、雲があれば雨になった。そして、1 4 日に熊本には雲がない。だから、熊本は晴れである。	5
	(3)	㉑	思考	○ 天気をくもりと予想して書いている。 ・ くもり	1	○ 天気を晴れと予想して書いている。 ・ 晴れ	3
		㉒	思考	○ ㉑でくもりと解答した場合、以下のように説明している。 ・ 雲が少し残っているから。 ○ 雲の動きに触れていない。 ・ 雲がないから。	3 2	○ 雲の動きと関連付けて説明している。 ・ 熊本にかかっていた雲が、東の方へ動くと、熊本にあった雲がなくなるから。	5
	(4)	㉓	技能	○ 1 つだけ正解している。 ・ (南) からのみ正解している。 ・ (北) の方のみ正解している。 ○ 方角でなく上下で書いている。 ・ (下) から (上) の方に動いた。	1 1	○ 南から北の方へ動くことを書いている。 ・ 台風は、(南) から (北) の方に動いた。	3
		㉔	知識	○ 雨や風について 1 つしか書いていない。 ・ 雨が強くなる。 ・ 風が激しくなる。	2	○ 雨や風が強くなることを書いている。 (雨, 風の両方に触れている。) ・ 雨の量が増えたり, 風が強くなったりする。 ・ 雨や風が強くなり, 勢いが増す。	3
		㉕	関心	○ 右記のような具体的な対策を 1 つ書いている場合・・・3 点 ○ 下記のように具体的でない対策を書いている場合・・・1 つにつき 2 点 ・ とばされないようにする。 ・ こわれないようにする。 ※これらの組み合わせで 2 ～ 5 点	5 4 3 2	○ 実体験や地域の実態に応じて具体的に書いている。(1 つ 3 点) ・ 窓ガラスにテープを貼る。 ・ 外に置いてあるものを片付ける。 ・ 雨戸を閉める。 ・ ビニルハウスのビニルをはぐ。(固定する) ・ 停電する場合を考えて, 懐中電灯などの用意をする。 ・ 水や食べ物などを用意する。 など	6
3.0点							